

家庭教育力の向上

学校・家庭・地域が連携する持続可能なPTA活動

大府市立共長小学校PTA

1 はじめに

大府市は、名古屋市の南東に位置する、人口約93,000人の都市である。共長小校区は長草地区と共和地区でなりたっている。地域のお祭りとして「どぶろく祭り」を毎年2月に開催している。また、共長コミュニティを中心に地域の方々とPTA役員が連携してよりよい共長地区にしようと考えている。

本校は創立119年目であり、全校児童698名、26学級（うち特別支援学級3学級）の中規模校である。「心ゆたかに たくましく」の校訓のもと、「『あい』がいっぱい笑顔いっぱいの学校」を合言葉として取り組んでいる。

2 研究への取組

（1）PTA組織

【夢のせて像】

コロナ禍より役員でよりよい持続可能なPTA活動にしていくための話し合いをしている。専門部の人数の精選、会費削減や活動内容の改善などについて見直したりする中で、本当に必要な活動について考えることができている。



常任委員会		
【常任委員】12名 会長 副会長 家庭教育委員 専門部の部長・副部長		・年間計画づくり ・会費や専門部の活動についての検討 ・地域との連携
専門部		
【文化部】 12名・学年2名 部長1名副部長2名	【研修・保健福祉部】 18名・学年3名 部長1名副部長2名	【校外生活指導部】 31名程度 部長1名副部長2名
・PTA新聞の発行 (年2回)	・講習会や研修会の開催 ・ベルマーク運動 ・就学時検診補助	・交通安全指導 ・あいさつ運動 ・通学班の作成
会員		

(2) 研究のねらい

目標を「誇りを胸に 笑顔を繋ぐ 心の輪 ～耀く未来であるために～」として、以下の方針で研究を取り組んでいる。

「家庭教育力の向上」

- ・子どもと語り、共に行動し、保護者としての自覚を高めるとともに、自らの責任を果たし、家庭教育の充実を図る。

「学校支援の充実」

- ・保護者と教職員が共に手を携え、子どもたちの健やかな成長を支える。

「家庭・学校・地域の連携強化」

- ・地域との緊密な連携・融合を積極的に図り、子どもにとって安心・安全な社会を築く。

3 実践活動の概要

(1) 常任委員会の取組

常任委員会では、各部の今後の活動の共通理解や P T A 活動全体の改善点を話し合っている。第一回の常任委員会で、グループになり P T A 活動のよさや今後の検討課題を出し合い、今後の活動を体験しながら話し合っていくようにしている。ここ数年で、年間費の削減や専門部の統合、選挙で選出される方の人数削減、環境整備ボランティアなど実施した。



【校舎の様子】

(2) 生活指導部の取組

生活指導部は 15 地区から 30 名程度選ばれており、各地区の長として、様々な活動を各家庭と連携して行っている。

① 通学団編成と登校時の旗当番活動

通学団の決定や班の編成に関わっている。班登校の様子の確認や安全指導の協力など、一年を通して活動している。また保護者から登校に関するこの相談を受け、学校の通学団担当と連携しながら対応している。生活指導部員が担当地区の現状を把握していることで、対応が素早く・適切に行うことができる。



【旗当番活動の様子】

毎日、20 箇所で旗当番活動を行っている。学期ごとの当番表を決め、児童の安全のために取り組んでいる。

② あいさつ運動

大府市で取り組んでいるきらきらチャレンジ活動の一環として、あいさつ運動を行っている。毎月0のつく日に部員で分担して昇降口であいさつ運動を行っている。学校の生活委員会とも連携し、朝のあいさつの啓発活動を行っている。児童とともにあいさつを行うことで保護者と児童との関わりが深まっている様子がある。子どもたちも元気なあいさつで一日の学校生活を始めることができている。



【あいさつ運動の様子】

③ 夏休み校外パトロール

夏休みの期間中に、地域の健全育成委員会と連携して部員の代表が夜のパトロールを実施している。地域の安全維持と安全意識の向上に役立っている。

④ 児童の通学路の安全について

毎年行われる市の教育懇談会で、通学路の安全施設設備の要望を行っている。部員に安全面や防犯面で改善してほしい箇所を調査してもらい、常任委員会などで話し合い、要望を決定している。児童の登下校の安全・安心のための一助となっている。

(3) 研修・保健福祉部の取組

① ベルマーク活動

児童の委員会活動として定期的にエコ委員会がベルマークの収集活動を行っている。そして、毎月の委員会時に種類ごとに整理している。その後、部員が担当に分かれ、集計作業を行っている。集まったベルマークでこれまでソフトバレーボールやボール入れなどを購入して児童の学校生活に役立てている。委員会児童から部員宛



【児童の活動の様子】

に感謝の手紙を書くなどお互いにとってよい活動となっている。

② 就学時健診の補助

毎年行われる新一年生の就学時健診に補助として参加している。当日は教職員とともに、新一年生のトイレのお手伝いや整列の補助などを行っている。健診がスムーズに行われるために、毎年欠かせない取組になっている。

③ 講演会

地域のコミュニティと連携して毎年、講演会を実施している。テーマによっては、児童も一緒に参加している。毎年、常任委員会の中で内容を検討していて、今年度は、子育てをテーマに保護者に向けて開催した。当日は、たくさんの保護者が出席した。子どもたちの考えていることをテーマに、心の健康相談員の立場からエ



【講演会の様子】

ピソードを交えながら具体的な実践を教えてもらう機会となった。参加された保護者からも「ほめ方を教えてもらった」などの感想があった。健康相談員の立場からエピソードを交えながら具体的な実践を教えてもらう機会となった。参加された保護者からも「ほめ方を教えてもらった」などの感想があった。今後も保護者の声を生かしながら、よりよい研修にしていきたい。

講演会一覧

R 5	情報モラル教育講演会	(参加者 保護者 地域の方 4 ~ 6 年)
R 6	性についての講演会	(参加者 保護者 地域の方 5, 6 年)
R 7	子育て講演会	(参加者 保護者 地域の方)

(4) 文化部の取組

学校行事や学校の教育活動の様子を保護者や地域の方々に知ってもらうために P T A 新聞「かけはし」を年に 2 回発行している。文化部の部員が各学期で担当をきめて、運動会や学習発表会時には写真撮影を行っている。今年度はより学校の様子だけでなく、P T A 活動について新聞で周知できるように工夫している。



【新聞発行の打合せ】

4 おわりに

今回の研究を通して、改めて実践している P T A 活動が、児童や学校のために大きく関わっていると感じた。組織の見直しや活動の精選と言われる中、P T A 活動のよさを周知していきたい。また活動の改善点としては、各部の仕事量の多さに偏りがあることがあり、誰が役員になっても取り組めるような活動量にすることがある。そしてよりよい活動にするために、保護者や教師からも意見を出し合い活発に議論していく必要性を感じた。今後も学校・家庭・地域と連携して持続可能な P T A 活動をしていきたい。